

平成29年10月23日 台風21号に伴う出水で
矢木沢ダム・奈良俣ダムは、防災操作を行いました。

防災操作により

矢木沢ダムに貯留（約979万 m^3 ）、奈良俣ダムに貯留（約151万 m^3 ）

矢木沢ダム流域では、10月21日23時頃から24日01時までの累計で、183.6mmの降雨量を観測しました。

この降雨によって、ダムへの流入量が増えたことにより、23日03時00分に流入量が洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため、防災操作を実施し、ダムに約979万立方メートルを貯留しました。

奈良俣ダム流域では、10月20日23時頃から23日24時までの累計で、140.9mmの降雨量を観測しました。

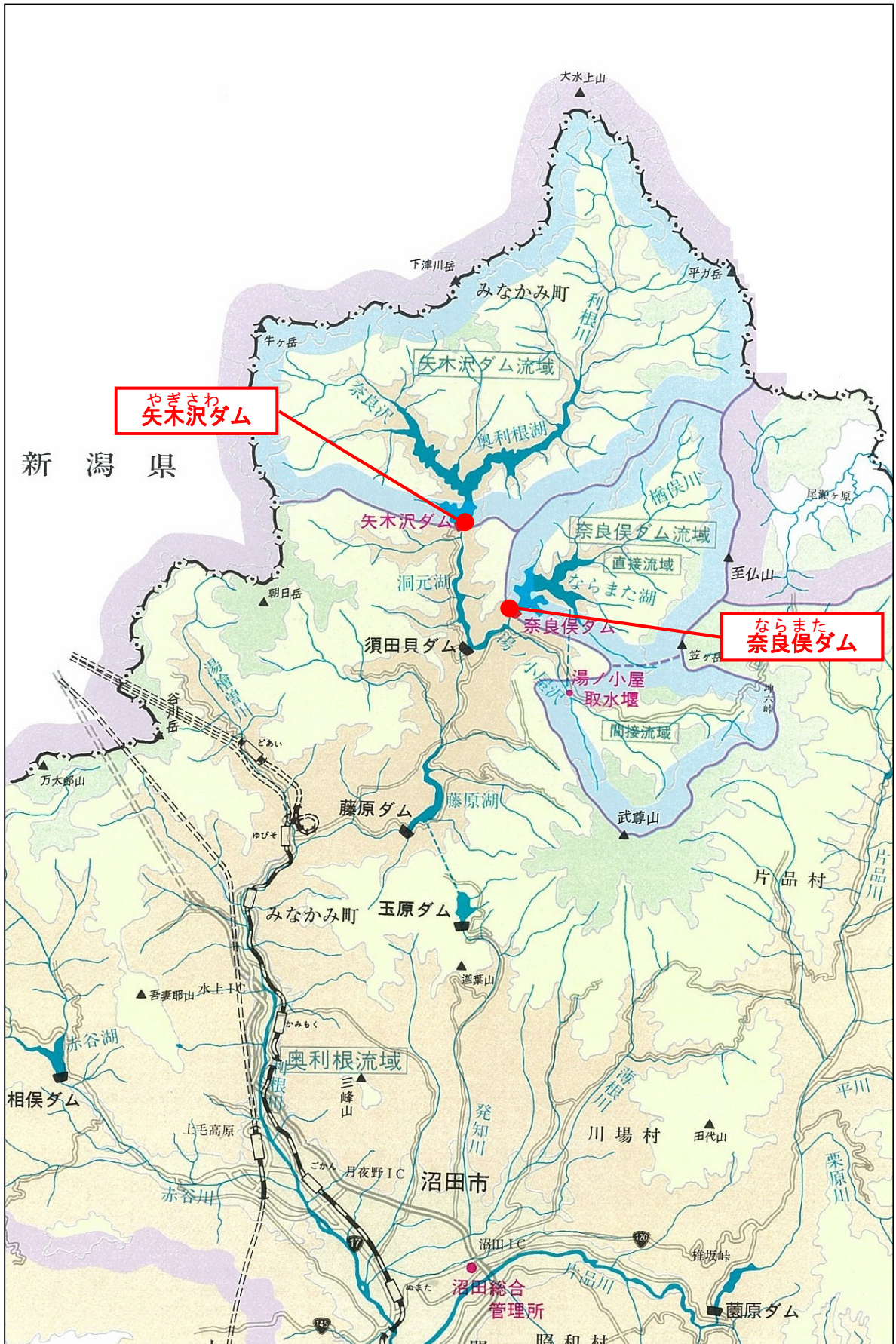
この降雨によって、ダムへの流入量が増えたことにより、23日03時50分に流入量が洪水量（毎秒80立方メートル）に達したため、防災操作を実施し、ダムに約151万立方メートル全てを貯留しました。

今後も、矢木沢ダムでは適切に防災操作を実施し、下流地域の洪水被害の防止・軽減に努めていきます。

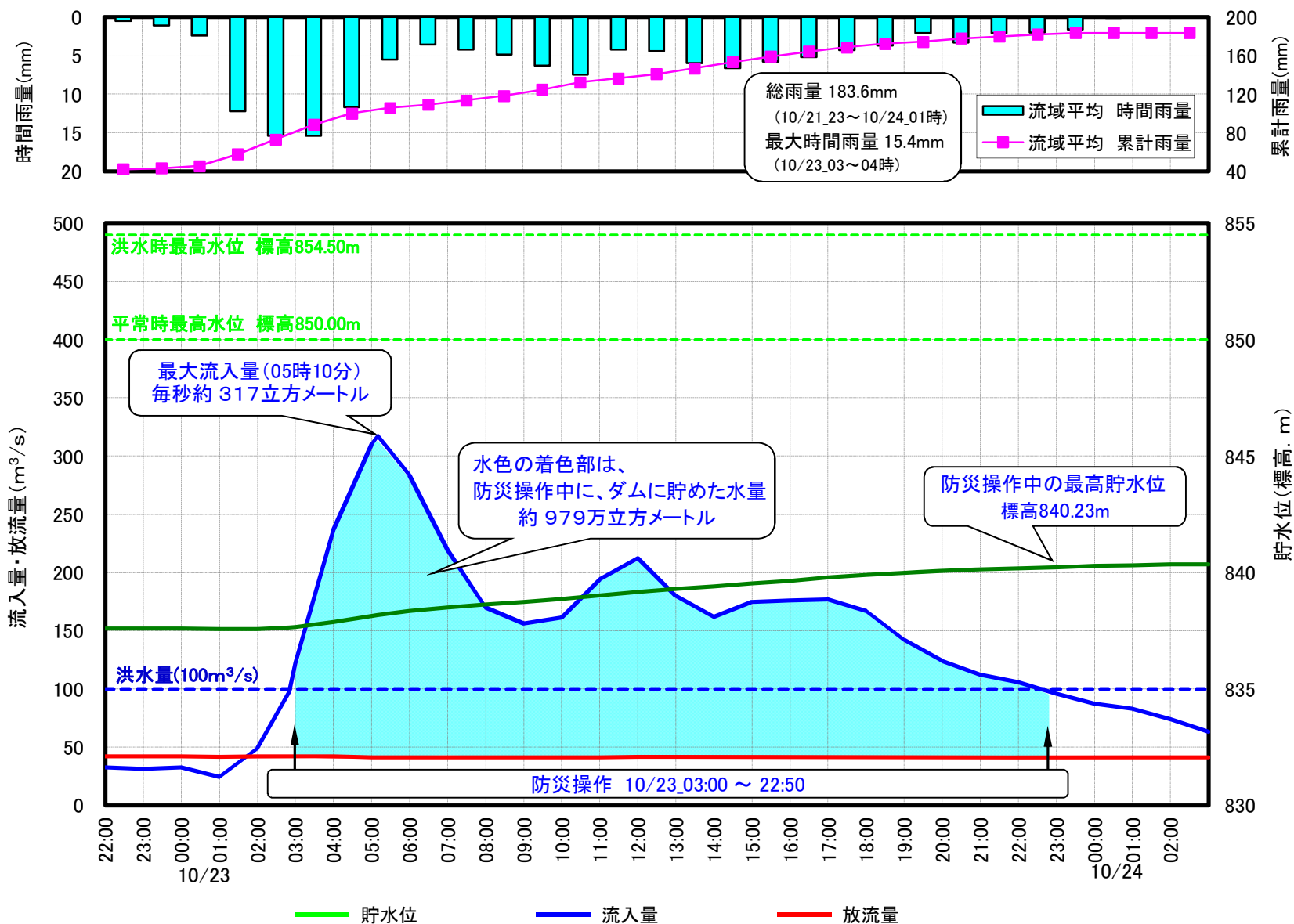
※防災操作とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注) 数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図



■奈良俣ダムの防災操作の状況図

